

ご意見と回答

提案・意見

伊勢市について(回答:7月3日時点)

(2026年3月受付)

Q1:伊勢市は農業や水産の研究施設がないのはなぜですか。

近隣の地域は養殖や漁業が盛んで伊勢市は農業や水産を諦めていませんか。

農林水産業に従事する人が本当に可哀想です。

例えば魚の養殖施設を誘致することとかは考えてください。

農林水産業をする人に対する肥料の支給など支援を作ってください。

Q2:伊勢市役所の職員は正職員と非正規職員がいると聞きましたが、賃金格差はどのくらいあるのか数字で教えてください。

格差がある場合、伊勢市としてその賃金差と能力差(仕事量)に見合っていると考えているのか教えてください。

Q3:小中学校から半径1キロの通学路の道路の歩道は色付きにして子供を守るようにしてください。

Q4:伊勢市内のバスは観光客で溢れかえり地元の人が乗れないのが現状です。

オーバーツーリズムで地元の人がとても困っているのに伊勢市役所は黙認しているのはどうなのでしょう。

Q5:下水道管が破裂するというニュースをよく見ますが、コンクリート製の下水道管を敷設すれば破裂しないのでそうすればいいのではないのでしょうか。下水道の破裂で被害のある人をゼロにしてください。

Q6:災害の時に家に住んでもいいのか専門家の人に見てもらえる制度はありますか。ある場合、何日以内に見てもらえるのかと費用を教えてください。

Q7:伊勢市は三重県内で災害に強いまちなのか教えてください。

Q8:燃えるごみの収集は1週間にあと1日増やして土曜日か日曜日も設けてください。

回答

Q1

伊勢市内には農林水産関係の研究施設はありませんが、三重県や三重大学などの関係機関と連携し、農林水産業に関する各種課題の解決に向け、取り組んでおります。

養殖業については、海面養殖として黒ノリ、青ノリ養殖が行われていますが、近年では陸上養殖の取り組みも始まっています。今後も新たな養殖の取り組みを推進してまいります。

また、農林水産業へ携わる方への肥料の支給は行っておりませんが、養殖業における海洋施肥に対して支援を行っております。

今後も引き続き関係機関と連携し、農林水産業の振興に取り組んでまいります。

【農林水産課】

Q2

職員の賃金は、それぞれの職における職務内容の複雑さや担う責任の重さなどを総合的に勘案し設定しており、適正な水準であると考えております。

具体的な賃金の例として、令和7年4月時点の初任給(基本給月額)は以下のとおりです。

・正職員(大卒事務職):225,600円(1日7時間45分勤務)

・非正規職員(会計年度任用職員・事務支援員):188,032円(1日7時間15分勤務)

【職員課】

Q3

伊勢市では国、県、警察、市等で組織する「伊勢市通学路交通安全プログラム」において、通学路の安全確保を図っています。学校や地域等が通学路を確認し、報告があった危険箇所について対策案を協議し、整備をすすめていくこととなります。

今回、ご意見としていただきました「歩道の色付き」は、路側帯を緑色に塗装するグリーンベルトのことと思われます。グリーンベルトは、学校から半径1km以内に限らず、子どもの安全のために必要と判断された場合に、対策をおこなっています。その他の安全対策につきましても、道路状況・通学状況に応じ、最適な対策をおこなっています。

今後も、学校・地域・関係機関と連携して子どもたちの通学路の安全確保に努めてまいりますので、ご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

【学校教育課】

Q4

伊勢市内の路線バスについては、運行事業者である三重交通㈱により、混雑対策に取り組んでいただいております。

観光客の方が多く混雑している伊勢市駅・宇治山田駅や外宮と内宮を結ぶ路線バス(外宮内宮線)については、令和 8 年 4 月 1 日よりダイヤ改正による増便が実施されました。

また、大型連休や新春、3 連休等の繁忙期で、臨時バスの台数を多く確保できる場合には、定期運行のバスの先走りで臨時バスを運行することがあり、途中のバス停などをご利用いただく方がバスに乗り切れないことが起こらないようにしていただいております。

さらに、外宮前などの主要な停留所に旅客案内者(金・土・日・月曜を中心)を配置し、途中のバス停(庁舎前や蓮台寺など)をご利用いただく方などを把握している場合は、内宮を目的にされる方より先にご乗車いただくようご案内していただいております。

その他の路線についても、路線バスの運行事業者である三重交通㈱との情報連携を行い、適正な本数の維持や改善を求めてまいりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

【交通政策課】

Q5

下水道管(雨水管)は、主として提案のコンクリート製を使用していますが、コンクリート製であっても老朽化による損傷が発生する可能性があることから、当市では、定期的に点検を実施するなど、事故防止に努めております。

【下水道課】

Q6

地震被害後に専門家に家を見もらう制度は複数あります。

例えば、「被災建築物応急危険度判定」です。これは、地震発災後の初期段階に行われるもので、余震等の二次被害を防止するため、市が建築士等の「判定士」を現地へ派遣して行う応急的な調査です。費用についての負担はありません。

また、「被災度区分判定」というものもあります。これは、大地震により被災した家に残された耐震性能を把握し、その家に引き続き住むためにどのような補修等が必要かを建築の専門家に詳細に調べてもらうものです。費用については個々の負担となります。

いずれも具体的な日数については、被害状況・規模により異なってくるため、一概には言えないと考えられます。

【住宅政策課】

Q7

伊勢市は、津波や土砂災害、洪水など様々な災害リスクがある地域です。「自助」・「共助」・「公助」の取組を進め、災害に強いまちを目指しています。

【危機管理課】

Q8

現在、市内で発生した可燃ごみは、毎週2回の回収業務を行っており、伊勢広域清掃組合の清掃工場へ持ち込まれ、焼却処分をしています。

ご提案いただきました、可燃ごみの回収日を増やすことにつきましては、回収日数が増えますと回収業務にかかる費用の負担も増加してまいります。

また、市内の可燃ごみ量におきましては年々減少しておりますことから、現状の回収体制を維持したいと考えております。

ご不便をおかけすることもあるかと存じますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【ごみ減量課】

農林水産課・職員課・学校教育課・交通政策課・下水道課・住宅政策課・危機管理課・ごみ減量課(2026年7月回答(6月27日～7月3日))

カテゴリ:その他>その他

ご意見と回答

提案・意見

小学校の防災倉庫と倉庫について(回答:6月26日時点)

(2026年6月受付)

市内小学校に存在する全ての防災倉庫と倉庫がコンクリート基礎か転落防止措置を施しているということでしょうか。

前の質問で答えてもらっていませんが、そのような措置をせずにただ単に置いてあるだけの倉庫もちょうどありました。全ての倉庫が基礎の基準に適合しているということでしょうか。

回答

この度のご指摘を受け、市内全ての学校の防災倉庫について、改めて点検を実施いたしましたところ、児童・生徒が日常的に利用しない区域に設置している一部の倉庫において、安全確保が十分でないことが確認されました。

つきましては、速やかに安全対策を講じるとともに、転倒防止措置を含めた必要な対応を行ってまいります。

【危機管理課】

学校施設における倉庫は、物置として取得し、コンクリートブロックの上に置いて設置したものもございます。

しかし、昨今の全国的な地震の状況を鑑み、児童・生徒の安全確保を第一に考え、引き続きご指摘いただいた倉庫に加えて敷地内における倉庫の再確認を進め、転倒防止措置を講じていきますので、ご理解賜りますよう、よろしくお願いいたします。

【学校施設整備課】

危機管理課・学校施設整備課(2026年6月回答(6月27日～7月3日))

カテゴリ:くらし・環境＞防災

ご意見と回答

提案・意見

ごみ集積所について(回答:6月29日時点)

(2026年6月受付)

ごみ集積所の利用を各自治会、町内会が非会員に対して制限するという事例があります。

本来入退会の自由が保障されている自治会や町内会への入会を強要するツールとしてごみ集積所の利用が使われている事例を市としては把握しているのでしょうか。

一度調査してこのような事例があるなら指導し制度の見直しをするべきではないでしょうか。

回答

伊勢市においては、自治会の加入・未加入を問わず、家庭から出る燃えるごみはごみ集積所に出していただくか、清掃工場に直接搬入(有料)いただいております。

伊勢市は、ごみ集積所、もしくは、ごみ集積所周辺に置かれた個人のごみ箱(ごみ集積所の管理者である自治会の了解を得たものに限る)に出された燃えるごみを収集しております。

ごみ集積所は自治会が所有していることから、その管理、使用方法是、自治会それぞれの判断・ルールに基づく運用となっております。

自治会未加入の方は、燃えるごみの出し方については、お住いにある自治会に、ごみ集積所の利用やごみ集積所周辺に個人のごみ箱を設置できるかをご相談いただくようお願いいたします。

なお、自治会と折り合いがつかない場合がございましたら、ごみ減量課までご相談ください。

ごみ減量課(2026年6月回答(6月27日～7月3日))

カテゴリ: <暮らし・環境> ごみ

ご意見と回答

提案・意見

通学路の草刈り依頼(回答:7月3日時点)

(2026年6月受付)

県道60号線、豊浜西小学校から豊浜大橋にかけて、特に中橋手前の歩道の雑草が凄い、朝夕の通学時に自転車が雑草を避けるため車道に寄ってきて危険と感じた事が多々あります。後、総合市場から小俣消防への歩道についても雑草が酷い、一度確認して下さい。早急に草刈りをお願いします。

回答

ご意見をいただきました通学路の草刈りについて、道路管理者の三重県伊勢建設事務所に申し伝えましたところ、次のとおり回答がありました。

県が管理する道路の除草につきましては年に1度としており、7月から順次進めていくこととしております。

ご意見をいただいた箇所につきましても今後、順次除草を行ってまいりますので、ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

監理課(2026年7月回答(6月27日~7月3日))

カテゴリ:その他>その他

ご意見と回答

提案・意見

伊勢市合理化事業計画について(回答:7月3日時点)

(2026年6月受付)

伊勢市合理化事業計画では、下水道普及により減少した業務量に対して代替業務を提供することとされています。また、確認書では、各事業者は支援業務の実施により業務転換に努めるものとされています。

合理化事業に対する市民の理解を深めるため、伊勢市として合理化事業の目的達成をどのように判断しているのか、その評価基準や考え方を市民へ公表していただくことを提案します。

回答

「伊勢市合理化事業計画」は「下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法」の趣旨に基づき、し尿等の収集体制の見通しとともに一般廃棄物(し尿等)収集運搬等事業者への支援策をまとめたものです。

ご意見にあります「合理化事業の目的達成の評価基準」については、市としましては、法の趣旨のとおり、「し尿等の適正な処理体制が確保されていること」及び「し尿等の収集運搬等事業者の業務の安定が保持されていること」と考えております。

なお、本計画については、伊勢市議会にてご意見をお聞きしながら計画を定めており、その結果等についてはホームページにて公表しているところです。

引き続き、市民の皆様の生活環境を守るため、事業者と連携し取り組んでまいります。

環境課(2026年7月回答(6月27日~7月3日))

カテゴリ:くらし・環境>環境

ご意見と回答

提案・意見

小俣総合支所の耐震性能について(回答:7月3日時点)

(2026年6月受付)

地震が起きたら小俣総合支所は震度何まで耐えられる想定なんですか。
経年劣化も考慮する必要があるので耐震診断は定期的に行っているのでしょうか。
重要度係数はいくつで耐震診断をしているのでしょうか。
暴風は風速何メートルまで耐えられるのでしょうか。

回答

小俣総合支所は昭和56年以降に建築された新耐震基準の建物のため、耐震診断は行っておりません。

また、地震の揺れ方により変わりますので震度何まで耐えられるかということはお答えできません。暴風につきましても、風の吹き方により被害状況が変わりますので風速何メートルまで耐えられるのかお答えできませんが、建築当初の昭和61年の建築基準法にて構造計算し、施工しております。

小俣・生活福祉課(2026年7月回答(6月27日～7月3日))

カテゴリ:くらし・環境＞防災

ご意見と回答

提案・意見

ミライセ入口付近へのベンチ設置のお願い(回答:7月2日時点)

(2026年6月受付)

伊勢市駅付近にあるミライセの道路沿いの入口付近について、ひとつお願いがあります。

車でその場所をよく通るのですが、女子高校生や高齢の方などが一人で立っていたり、地面に座っていたりする様子をよく見かけます。大人数で集まっているわけではなく、バスを待っている方や少し休憩されている方が多いように感じます。

これから暑い時期になり、ちょうどその場所が日陰になるため、待ち時間を過ごしやすい場所になっているのだと思います。しかし、地面に座っている方を見るたびに、座って休める場所があればいいのにと感じています。

もしミライセが市の管理する施設であれば、道路沿い入口付近にベンチを設置していただくことはできないでしょうか。

高齢の方や学生など、公共交通機関を利用される方にとって、待ち時間を少しでも快適に過ごせる環境づくりにつながると思います。

回答

このたびは、待合環境の改善に関する貴重なご意見を賜りありがとうございます。

MiraISE 前の伊勢市駅前バス停につきましては、MiraISE が伊勢市の管理施設ではないため、市が当該敷地内にベンチを設置することができません。

また、ベンチの設置については、バス停を管理する三重交通株式会社と MiraISE を運営する株式会社未来伊勢で協議した結果、バス停柱の横の歩道上にベンチが設置された経緯がございます。

しかしながら、ご指摘いただいた状況を踏まえ、利用者が快適に待ち時間を過ごせるよう、伊勢市といたしましてもベンチの設置について重ねて働きかけさせていただきますので、何卒ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

交通政策課(2026年7月回答(6月27日~7月3日))

カテゴリ:まちづくり・インフラ>まちづくり